

2026 年
IBTF世界フリースタイル・リズムクトワール
選手権大会
日本代表選考会九州予選

競 技 規 定
審 査 規 定



日本バトン協会九州支部

目 次

2026 年IBTF世界フリースタイル・リズムミックスワール選手権大会 日本代表選考会九州予選

フリースタイルソロ	2
フリースタイルペア	4
フリースタイルチーム	5
その他の競技規定	6
順位規定	7

フリースタイルソロ

2. フリースタイルソロ

(1) 競技規定

- ① 人数 …1 名
 - ② 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
 - ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m の広さを目安とする
 - ④ 曲 (時間) …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分
シニア 2 分から 2 分 30 秒の自由曲を使用
 - ⑤ 内容 …1 本のバトンを使って以下の技術を競う
- プログラム構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成することが望ましい
- ア) エーリアル …ジュニア 4 つ・シニア 5 つ
- ・コンティニアス (ピュア) スピン
 - ・ステーションナリーコンプレックス
 - ・トラベリングコンプレックス
- ※それ以外に自由にジュニア 1 つ・シニア 2 つ
- < 推奨 >
- ・総数の内 1 つは水平のものを
 - ・総数の内 1 つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンダードキャッチのものを
 - ・総数の内 1 つは左右サム、左右バックハンド、左右水平トス以外のノンスタンダードトスのものを
- ・コレオグラフィック・エーリアル (振付的なエーリアル) において、実施できるメジャーボディムーブは最大 1 つまで
- イ) ロール …水平とバリエーションの両方
- ウ) コンタクト マテリアル …水平とバリエーションの両方
- ⑥ コスチューム
- 安全性が確保されていること
- 手のひらと顔を覆うようなものは不可
- コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可
- ※IBTF 規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>
- ※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員 (フロアモニター) はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。
- ※選手は、審判員 (フロアモニター) より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① テクニカルメリット
 - ア) テクニック
 - イ) スピード
 - ウ) 3 モード (エーリアル・ロール・コンタクト マテリアル) のバラエティー・ディフィカルティー
 - エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
 - オ) ディフィカルティー
 - カ) クリアネス&シュアネス
- ② アーティスティックエクспレッション
 - ア) ジェネラルコンテンツ
 - イ) ビジュアルミュージカルティー
 - ウ) 空間の利用度
 - エ) チェンジオブペース
 - オ) スキルの要求度
 - カ) 演技の優秀さ
 - キ) 正確さ

ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

③ 採点・ペナルティ

ア) 10 点法（小数第 2 位まで）で採点する

イ) 決勝は同点なしで採点する

ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する

エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

フリースタイルペア

1. ペア

(1) 競技規定

- ① 人数 …2 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 2 本（各 1 本）
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m
- ④ 曲（時間） …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分
シニア 2 分から 2 分 30 秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容
プログラム構成 フリースタイル演技内容をコンセプトに、エクステンジを含む
エクステンジの種類…パターン、プレーン、高さ、バトンが描く空中の絵柄、3 モード、
リリース、キャッチ、ボディワーク、使用されるバトンの数（1 本または 2 本）、その場または移動しながらの交換。相手を見ずにあらゆる
状況に対応する順応力を表現する
- ⑥ コスチューム
安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可
※IBTF 規定に準ずる。<https://www.ibtf-batontwirling.org/>
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。
※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクステンジ
 - ウ) 移動しながらのバトントワリング
 - エ) 両手使い
- ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) ペアワーク
- ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）
- ④ 採点・ペナルティ
 - ア) 100 点法（小数第 1 位まで）で採点する
 - イ) 決勝は同点なしで採点する
 - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
 - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

フリースタイルチーム

1. チーム

(1) 競技規定

- ① 人数 …6 名から 8 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 6 本から 8 本（各 1 本）
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m
- ④ 曲（時間） …3 分から 3 分 30 秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容
プログラム構成 フリースタイル演技とフリースタイルペア内容をコンセプトに、バトンとボディのユニゾン性、シンクロニック トワーリング、バトンとボディが一体となった変化や困難度、音楽解釈に基づくステージング・フォーメーションを表現する
- ⑥ コスチューム
安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可
※IBTF 規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。
※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクスチェンジ
 - ウ) 移動しながらのバントワーリング
 - エ) 両手使い
- ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) チームワーク
- ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナリズム（リカバリー能力、チームの責任）
※選手は、演技中に声を掛け合わないこと
- ④ 採点・ペナルティ
 - ア) 100 点法（小数第 1 位まで）で採点する
 - イ) 決勝は同点なしで採点する
 - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
 - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用すること。競技前にバトンのチェックを行う
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度な錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い
- (3) バトンのシャフトに貼るテープの色は黒・グレーまたは白の2色。ただしグリップテープはシャフトの長さの $\frac{1}{2}$ までとし、センターから同等に巻くこと。（1色はラッピング用、もう1色はセンターマーク用）
- (4) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい
- (5) テープやテープの類似品以外の付属品等を使用することはできない（視覚的補助及びハンドリング補助のためは可）
- (6) フリースタイルペア・フリースタイルチームは、グリップテープの色や巻き方を同一にすること
- (7) 競技フロアヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない
- (8) 怪我のための包帯等は可
- (9) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する
- (10) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する
- (11) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い。装飾（顔に模様を描く等）は禁止する

<参考>

IBTF競技におけるバトンの定義：標準的なバトンとは、クロムメッキ／銀メッキされたスチールシャフトで、錘の白いゴム球が叩打または圧入され、先端を覆ったものを指す。バトンは、サイズと重量によって様々なバランスポイントを持つ。一般的な長さは、14～32 インチ（35.5～81.5cm）で、直径は3/8 インチ（10mm）、5/16 インチ（8mm）、7/16 インチ（11mm）のいずれかである。その重さは約8 オンス（227 グラム）で、長さとは直径によって決定される。

2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる

順位規定

1. 審査

(1) 審査員長・副審査員長

審査員長1名、副審査員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する

(2) 審査員・ペナルティ審査員

① フリースタイルソロ・フリースタイルペア・フリースタイルチーム

- ・審査員は**5名**とする。
- ・必要に応じて、審判員（フロアモニター）は1名以上とする

*実施要項・競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、理事会において
加除訂正を行うことができる

2. 順位

(1) フリースタイルソロ

① 選考は次の通りとする

- ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する
- イ) 同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する
 - 優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする
 - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順4 審査員の投票により決定する

(2) フリースタイルペア

① 選考は次の通りとする

- ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する
- イ) 1位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する
 - 優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする
 - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順4 審査員の投票により決定する

(3) フリースタイルチーム

① 選考は次の通りとする

- ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する
- イ) 1位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する
 - 優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする
 - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする
 - 優先順4 審査員の投票により決定する